

IUHW



The gazette of International University of Health and Welfare

西暦2000年元旦初日の出(E棟屋上にて撮影)AM 7:00



特集

新年の挨拶

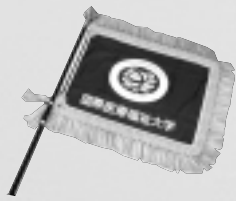
常陸宮正仁親王同妃両殿下来訪

第4回学長杯英語スピーチコンテスト開催

実習体験記第2弾 医療福祉学部編



発行：学校法人国際医療福祉大学 平成12年1月20日
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線8116
ホームページアドレス <http://www.iuhw.ac.jp>



理事長・学長年頭の挨拶



理事長 高木邦格

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

2000年というこの記念すべき年を、皆さんも新たな気持ちで迎えられたことと思います。

本学においても、今年には校内に国際医療福祉リハビリテーションセンターが開設されます。このセンター内には重症心身障害児施設「なす療育園」と身体障害者療護施設「那須療護園」ならびに身体障害者「イビ」

センター「那須センター」の三つの施設がオープンします。大学院生や研究者のためのL棟の工事も3月中には竣工する予定で、棟内には基礎医学の実験設備や就職情報室、カサリグーム、同窓会用事務室など新しい用途の部屋が設置されます。

臨床教育関連施設としては、先ほどの重心・療護施設が新たに加わり、東京の山王病院新病棟も年内に完成の見込みです。さらに栃木の国際医療福祉病院も新病棟の着工にかかる予定です。こうした施設には患者様にできる限り最高度の医療サービスを提供する一方で、教育研究に資するという両面があります。入所・入院・来院される方々にとって過ごしやすい場を提供することを設計思想とし、環境においても設備面においても21世紀の医療福祉の原型を作るにふさわしい施設となるものと思います。こうした施設を整備することで本学に不足している実習施設を確保し、大学と協力して運営していきたいと考えています。しかし、施設は整備しますが、それを運営し、実際に動かすのは人間であり、皆さん一人一人の力です。国際医療福祉大学の卒業生たちが、どのような場所においてもどのような環境におかれても創意工夫を忘れず、医療従事者としての志を高く持っていただくことを願っています。

大学側としても、学生諸君がより効果的に学び、よりよい学生生活を送るためにどのような支援をすればいいのか、大いに創意工夫が必要であると痛感しているところです。皆さんも前向きな提言があれば積極的にお寄せいただきたいと思います。

いよいよ20世紀も最後の年となりました。悔いのない一年を送られることを願ってやみません。



学長 大谷藤郎

新年おめでとうございます。今年2000年は20世紀最後の年です。

私は1945年の第二次大戦の日本の敗戦をはさんで20世紀の4分の3を生きてきました。年をとるほど、50年以上前に若くして戦争に倒れた友のことを思い、ご両親や家族の嘆きを思い、これからは平和な日本であってほしいと心から願っています。

これから21世紀に生きる若者は与えられた平和をエンジョイするだけでなく、自ら正義を尚び平和を創る努力をして下さることを期待しています。

現在建設中の 国際医療福祉リハビリテーションセンター



- 1階「那須センター」
「なす療育園」
診療施設
リハビリテーション施設
- 2階「那須療護園」
入所施設
- 3階「なす療育園」
入所施設

L棟は理学・作業・基礎医学などの研究室を始め、就職情報室、教育後援会室、同窓会室なども設置されています。



現在建設中の大学院棟（L棟）



新年会で今年度の抱負を語る理事長



2000年にめでたく成人式を迎えました



総勢400人を越える盛大な新年会になりました

常陸宮殿下・妃殿下ご来訪



管理棟前にハナミズキを記念植樹

12月10日、常陸宮正仁親王殿下、同妃殿下が本学のご視察にお越しになられました。

理事長、学長、大田原市長等が玄関でお迎えし、理事長室で理事長から大学の概要をご説明申し上げた後、学内をご案内致しました。

はじめに、作業技術室で、小砂焼の陶芸家を講師にした作業療法学科の焼き物作りの実習をご覧いただきました。両殿下は学生に熱心にお声をかけられ、また、展示していた自助具をお手にとってご覧になられた。大変興味を持たれた様子でした。



作業療法実習室で学生にお声をかけられる常陸宮殿下

次に管理棟玄関前で、ご視察の記念に紅白の「ハナミズキ」をお手植えいただきました。途中、留学生とお言葉を交わされる場面もありました。

最後に、本学クリニック二階言語聴覚センターでは、笹沼先生が東洋一の設備を誇る当センターの説明を申し上げるとともに、実際に患者の指導を行っている様子をご覧いただきました。また、治療・訓練を受けている子供さんから華子妃殿下が直接花束をお受け取りになられ、クリニック外来診察に来ていたお年寄りの方にも励ましのお言葉をかけられるなど、終始にこやかにご見学なさっておられました。

99 いっくら日本語スピーチコンテスト

蔣讃奎さん、国際シンポジウム in 宇都宮のスピーチコンテストでみごと入賞



表彰を受ける蔣さん（写真右）

いい内容でした。大阪弁、茨城弁、東京弁の日本語三カ国語について栃木弁も話したいと考えている蔣さんに、みなさん御協力よろしくお願ひ致します。

(和田真知子)

11月27日、宇都宮市のコンセーレ大ホールで行われた、いっくら日本語スピーチコンテスト(いっくら国際文化交流会主催)において、理学1年 蔣讃奎(ジャン・チャンキュ)さんが、優勝・準優勝に次ぐマロニエ賞を獲得。蔣さんは韓国から日本へ来て5年半、これまで生活してきた地でマスターした大阪弁、茨城弁を巧みに使いこなしたスピーチは、会場を大いにわかせました。歴史に根ざした地域語の大切さを訴えたすばらしいスピーチは、会場を大いにわかせました。歴史に根ざした地域語の大切さを訴えたすばらしいスピーチは、会場を大いにわかせました。



表彰式を終え記念撮影



お知らせ



図書館

新コンピュータシステムが稼働

11月より図書館の新コンピュータシステムが稼働しています。インターネット対応が可能で、図書館内の蔵書検索用端末も増設され、情報処理室、院生・教員用端末からも検索できます。不明の点は図書館へお問い合わせ下さい。

冬期の開館時間を延長

期末試験、国家試験の勉強に備え、開館時間を以下のように延長しました。「静かな図書館」を心がけて下さい。

- 1/4(火)～1/8(土): 9:00～23:00
- 1/11(火)～3/24(金): 9:00～23:00(土・日を含む)
(飯沼一浩)



学生課

春期休業にむけての注意とお願い

これから後期試験を経て春期休業に入ります。そこで学生の皆さんに若干の注意とお願いをいたします。

盗難や交通事故報告が増えています。自宅の戸締りや持ち物の紛失に注意しましょう。また運転中の携帯電話の使用やカーナビの注視は11月1日から原則として道路交通法の違反行為となり、違反点数2点と反則金が車の大きさによって6000～12000円の範囲で課せられます。

(特に新4年生)就職活動には休みは関係ありませんので自己分析や情報の収集に努力して下さい。また2～3年生も新年度にむけてミスのないよう、掲示板には注目してください。



入試事務局

一般入試後期日程について

一般入試後期日程が下記日程で実施されます。

- ・出願期間: 2月18日(金)～3月3日(金)消印有効
 - ・試験日: 保健学部 3月13日(月)
医療福祉学部 3月14日(火)
 - ・合格発表日: 3月21日(火) 午後1時
 - ・入学手続: 3月21日(火)～3月24日(金)消印有効
- 入試についてのお問い合わせ、募集要項の請求は
入試事務局 TEL: 0287-24-3200
FAX: 0287-24-3199
までお気軽にどうぞ。

3月16日(金)	2月28日(木)	2月22日(月)	1月19日(金)	1月9日(火)	12月25日(金)	12月22日(金)	10月28日(土)	10月25日(土)	9月22日(金)	8月26日(土)	8月31日(月)	8月29日(土)	7月19日(水)	7月18日(火)	7月27日(土)	5月12日(水)	5月1日(月)	4月7日(金)	4月6日(木)	平成12年度学年暦
卒業式	春期休業開始	後期試験期間	後期授業終了	授業開始	冬期休業開始	授業終了	大学祭	後期授業開始	夏期休業終了、実習・補講期間終了	実習・補講期間開始	大学説明会	大学説明会	前期試験開始	前期授業終了	体育祭	前期授業開始	大学創立記念日	オリエンテーション	入学式	

同窓会入会方法

本会は、卒業生相互の親睦を図ると共に、医療福祉の向上に努め母校の発展に寄与する事業を目指しております。まだ入会されていない卒業生の皆様にはぜひ、ご入会いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

入会方法は専用の振込依頼書にてご入金ください。振込依頼書がお手元にない方は、同窓会事務局までご連絡ください。至急、ご送付いたします。

また、このほかのご質問等ございましたら、同様にご連絡ください。

同窓会事務局

〒324-8501
栃木県大田原市北金丸2600-1
(国際医療福祉大学)
TEL 0287-24-3003
FAX 0287-24-3100
e-mail mmm-doso@iuhw.ac.jp



第4回同窓会役員会報告

卒業記念樹「心癒の木」

同窓会「マロニエ会」では、平成11年12月4日(土)に、卒業記念樹マロニエの木の植樹式を行いました。マロニエの特性から卒業時期には移植が困難であるため11月中に植樹を行い、12月に同窓会役員が卒業生を代表して式を行うことといたしました。

高さ8mに達するこの木は、体育館東側の思索の森前に植えられており、「大学を巣立っていく仲間が、心をも癒す治療、看護、介護ができる人材になれるように」また、「在学生や遊びにきた卒業生にとって心を休める場となるように」との2つの願いから『心癒の木』と名付けられました。

この『心癒の木』が日に日に幹を太くし大きくなっていく様子がそのまま大学の発展を表すよう、同窓会役員一同祈っております。(平成11年12月4日(土)に予定しておりました、同窓会設立記念パーティーが延期となり、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。この場をお借りし、重ねてお詫び申し上げます。)(同窓会会長 吐師秀典)



心癒の木



部会・委員会報告

教務委員会

小委員会の発足および活動報告

医療福祉学部では平成13年度の新入生に向けてこれまでのカリキュラムの見直し作業を行うため、医療福祉学部カリキュラム検討小委員会を教務委員会内小委員会として発足しました。委員長は医療福祉学科の中野いく子教授であり、委員は2学科からそれぞれ2名ずつ選出されて組織されます。

臨床教育小委員会(委員長:斎藤恵子教授)では、臨床教育にかかわる諸問題の対処に関する活動を行っています。現在は7学科の平成12年度臨床・臨地実習の計画一覧を作成中です。特に大学関連施設における各学科の実習調整が大きな課題でもあります。

FD小委員会(委員長:矢野 聡教授)では、平成11年度の教員研修会を計画しています。日程は平成12年2月24日(木) 10:00~16:00の予定で行います。内容は、午前中の基調講演と、午後の分科会から成ります。基調講演の講師および分科会のテーマについては現在検討中です。教員の方々は、奮ってご参加下さい。(杉原素子)

国際部

国際医療協力研究プロジェクト

二五二 28号で報告しました標記・研究プロジェクトにつき、ベトナム政府・保健省との協議が必要になったので、プロジェクト顧問の国際医療福祉総合研究所・中嶋宏所長と国際部・長谷川が昨年12月22、28日にハノイおよびホーチミン市に出張しました。

シエクト

本年度は、計7名の研修員が次々と来学し、各学科、センター、事務局、クリニックほか、多くの関連施設で研修につき大変お世話になりました。本年度の研修はこれで終了しました。(長谷川豊)

国際交流委員会

11月15日

第3回留学生懇親会



第3回留学生懇親会の模様

- 1 11月15日、第3回留学生懇親会を開催し、ホストファミリー、関係職員と和やかな時を過ごしました。大田原国際交流会会長橋本洋氏、事務局長 柿澤邦雄氏をご招待し、今後深い交流をお願いしました。
- 2 11月27日、いつくから国際文化交流会主催「日本語スピーチコンテスト」で、PT1 蔣讚奎君(韓国)が素晴らしいスピーチでマロニエ賞を受賞しました。
- 3 本年度を締めくくる国際交流親善パーティーを、12月14日レストラン2階で開催しました。大田原国際交流会会長、副会長も出席し、学長、留学生、国際活動を行った学生、ホストファミリーにご支援をいただいた教職員、当委員会メンバーなど、約70名の方々が集まり、学生の余興、ゲームなども交え、交流を深めました。
- 4 栃木県青年海外協力隊帰国隊員報告会が、OB会、JICA関東支部、本学の共催により、12月17日6時より二五二教室で開催されました。内容の濃い報告に、学生からの活発な質問がよせられ、盛会でした。参加者数が50名程と少なかつたのが残念でした。今後継続して開催したいとの希望を持っています。(田中美子)

紀要委員会

明けましておめでとうございます。教職員の皆様には貴重な研究成果の発表の場である紀要に日頃から多大のご理解とご協力をいただきまして誠に有難うございます。年初にあたり紀要委員会として厚くお礼申し上げます。現在、紀要第4巻の編集作業中で、紀要にとって最重要の作業である投稿論文の審査と修正を行っております。査読者からの貴重な意見が本学紀要の質を高く保つ上で重要な役割を果たしており、ご多忙の中での審査と心労に深く敬意を表します。

紀要第5巻の原稿締切りは1月末日となっております。執筆者には是非とも脱稿をお願いいたします。

(野原功全)

就職委員会

就職内定47.2%、求人前年同様

平成12年3月卒業予定者555名のうち、就職希望者は515名、92.8%。求人は平成11年11月現在で、2,291件・13,948名、前年同期が14,902名だったのでほぼ前年同様に推移しています。

就職内定率は、全体で47.2%、看護72.1%、理学60.9%、作業31.1%、言語35.7%、放射線29.8%の順となっています。4年生は実習中のところが多く、1月に入ってから内定率が急上昇する見込みです。

就職委員会は、3年生を対象とする就職ガイダンスを医療福祉学部は1月11日、保健学部は4月上旬に2回に分けて実施することを決めました。(鈴木五郎)

ボランティア委員会

ボランティアセンターの企画

大学の敷地内に平成12年度から重症心身障害児施設と身体障害者療護施設がオープンします。その時にできればボランティアセンターを開設して、施設内のボランティアニーズに対応する受け入れのマネジメントや学生の地域へのボランティア活動への情報提供などを行えるようにしていきたいと検討をすすめています。(鈴木五郎)



学生ボランティア



第4回学長杯英語スピーチコンテスト

第4回学長杯英語スピーチコンテスト開催、優勝は理学療法学科の下重孝幸さん



学長と入賞者の皆さん

12月7日午後6時から学長を迎えて、恒例の Speech Contest が開催されました。2年生全員が参加したクラス予選を見事勝ち抜いた代表25名が「自分ならではの」魅力溢れる演説を目標に熱弁をふるいました。有名な演説が解釈と表現でこんなにも違う力を持つようになるのかと、聴衆はその度に惜みない拍手をおくりました。理学2年馬淵茜さんの司会進行のもと、E101は終始熱気に包まれました。ゲスト審査員は荒井蝶子先生、伊藤元信先生にお願いしました。1位は下重孝幸さん(理学)、2位は一戸知子さん(看護)、3位は小林基子さん(言語)でした。最後に学長を囲んでの記念撮影で見せてくれた全員の若々しい笑顔がとても印象的でした。みんな、頑張ってくれて、ありがとう！



司会の馬淵 茜さん

(南井紀子)

I'm so happy to win the first place. Last year, I was among the excited audience. I was deeply moved by each speech. Since then, I have been dreaming of being on this contest. Fortunately, the dream came true -not just being on the contest, but winning! However, without great help of my friends and teachers, I could not have succeeded. I enjoyed practicing with them so much; I learned a great deal and was encouraged by their energy. No words can fully express my feelings, but thank you, everybody, for this "glorious" prize and "precious" experience. I will surely treasure it in my heart.



熱のこもったスピーチ

(下重孝幸)



第4回学長杯英語スピーチコンテスト本選出場者と学長 出場者全員のレベルが年々向上しているのに驚きました！！



上段左から 熊田敦史, 横塚記代, 氷上尚子, 大澤健, 中三川正樹, 糸賀裕子, 鍋木咲智子, 茜ヶ久保嘉代, 橋本匡夫, 馬淵茜, 金子達也, 竹田千鶴子, 細川智也
中段左から 中島由希子, 神野沙織, 藁谷由葵, 小林基子, 下重孝幸, 学長, 一戸知子, 村山彩
下段左から 日向道子, 立澤真美, 大久保尚美, 福田美穂, 佐久間友美, 篠沢立暁

第4回英語スピーチコンテスト本選出場の方々からコンテスト終了後に感想を頂きました。

菓谷祐葵 (作業)
自信がついたような気がします。皆の前でスピーチする機会がなかなかないのでとても良い経験になったと思います。

茜ヶ久保嘉代 (作業)
非常に個人的なことですが少し落ち込んでいた時でしたので、自信を取り戻す、良い機会になり出場するチャンスにいただいたことに感謝しています。

横塚記代 (放射)
自分の実力を発揮できなくて残念でした。練習不足による緊張のためだと思いません。また自分を表現することの難しさを知りました。

篠沢立暁 (看護)
クラスの代表と言うことで、かなりLevelの高い中スピーチを自分が行うことは他にはあまりない貴重な経験となり、なかなかおもしろい体験として心に残って楽しめました。

一戸知子 (看護)
英語の楽しさや親しみ、また本選に向けた先生との個人レッスン、さらに約100人の前で英語のスピーチをするという体験そのものが得たものではないかと思えます。しかし、言葉に意味や重みを含ませて伝えるというのが難しく苦勞しました。

大久保尚美 (福祉)
今まで、私は英語が嫌いでした。今回、不安と緊張でいっぱいでした。けれどフーバー先生の指導のもとがんばればできるかもしれないと思うようになりました。当日は失敗してしまっただけで英語に対してやればできると思えるようになったことは私にとって大きな一歩だと思えます。

佐久間友美 (福祉)
It's a good chance to speak in front of many people.
When I waited for my turn, I was very nervous, but once I started the speech, I wasn't tense. I could enjoy myself.

立澤真美 (看護)
思わぬクラスの代表になり初めはとまどったがスピーチを終えてこのような体験ができて本当に良かったと思う。また少し英語に自信がつきこれからがんばろうというきっかけになり私にとって大きな大きな出来事になりました。

金子達也 (理学)
物事に対してチャレンジする気持ちとそれによって得られる達成感が本選に出場して得られたものだと思います。クラスの代表に選ばれて当日精一杯がんばってスピーチを行った、この過程がとても大切だったと思えます。

日向道子 (経営)
最初は「優」をめざし練習していましたが、徐々に本選をねらおうと思っていました。努力することで認められる喜びを得たと思えます。

細川智也 (理学)
初めKelso先生にクラスの代表に選ばれた時はなぜかわからなかったし、「嫌だな」という気持ちがありました。でも選ばれたからにはグランプリを狙いに行こうと何度も練習しました。南井先生、Kelso先生をはじめ、多くの先生方や友達に感謝です。

糸賀祐子 (経営)
代表になって来た人たちはみんなとてもがんばって練習したということ強く感じました。中でもやはり1位のKingは本当に迫力があって圧倒されました。そんな人たちと同じ舞台上で挑戦するという貴重な経験ができたのが得たものだと思います。

小林基子 (言語)
リハーサルで他の発表者のスピーチの上手さに刺激され、代表に決まっただけから練習に熱が入りました。不安な気持ちでいっぱいでしたが、マイクの前でスピーチしているときは不安や緊張はなかったような気がします。与えられたチャンスを自分の身になる「経験」にすることができて大変良かったです。

竹田千鶴子 (福祉)
みんなの「やるぞ!」という熱い気持ちに驚き緊張した。(特に本番)大勢の人の前に出るまでは「いやだ?」と思うのに、いざ舞台上になると「誰が、来てくれているのかな?」と聴衆を見る余裕がある自分にびっくりした。

熊田敦史 (言語)
大衆の面前で話すことはとても勇気がいりましたが、そこをがんばってできたことで、誇りになったように思えます。入賞こそできませんでしたが、英語のあまり好きではない自分にとって、とても良い経験ができたと思えます。

楠木咲智子 (経営)
表現力や自己主張、友情、発音への意識。大学生活での良い経験になりました。もっとうまい人がいたのに私なんかで学科の恥になってしまったのではと思います。私も練習不足だったのでもっと余裕を持って参加したかったです。

福田美穂 (福祉)
とっても嫌で仕方がなかったが、皆ががんばっている姿を見てこんな機会は滅多にないのだから、自分なりにやってみようと思い、自分なりの解釈ですべて自己流でやってみた。人前で下手でも堂々とやるのができたと思う。

中島由希子 (放射)
自分の発音に少しだけ自信がつかえました。とても緊張したけれど、良い経験ができました。

大沢 健 (放射)
うまくいえないけど大切な何かを得たと思えます。立食パーティーで学長と話すことができて良かったです。

神野沙織 (放射)
大勢の人の前で話せる度胸がつかえました。いい経験になりました。

橋本匡夫 (経営)
先生方に直接指導していただいたことがとてもありがたかったです。充実した経験になりました。

中三川正樹 (作業)
聴衆の前でスピーチすることの難しさを知りました。

村山 彩 (看護)
英語で話すことのおもしろさを知り、大勢の前でスピーチすることで成長できました。

下重孝幸 (理学)
友人との良い思い出ができ、英語担当の先生方とのコミュニケーションがより深まりました。賞を取りたいという目的のために、それを得ると同時に、その過程がとても大切だということを知りました。Speech Contestに参加したみんな、御協力してくださった先生方、本当にありがとうございました。

氷上尚子 (言語)
大勢の前でスピーチをすることがすごく不安で直前までやめたいと思っていたけれど、コンテストに出場できて良かったと思えるようになりました。自分の発音がだめだと思えたのは他の人の素晴らしいスピーチを聴けたからこそで、何よりも人前で話すという経験が一番の利益になりました。

実習体験記

医療福祉学部編

前回29号より始まりました「実習体験記」も、今回は第2回というところで、医療福祉学部の2学科の実習を座談会形式でまとめてみました。「医療経営管理学科」は高橋泰先生、「医療福祉学科」は本多勇先生に司会をお願いしました。

医療経営管理学科



高橋泰先生

高橋泰先生：医療経営管理学科の3年生は、全国各地の49病院で4週間の実習を行います。今回実習病院に特別にお願いましたことは、経営・管理する立場から学生達が病院を見ることができるよう、実習の半分は医業業務を、そして半分は様々な部署をというようにして、それでは医療経営管理学科、座談会を始めたいと思います。

病院実習で何をやってきたか？何を学んだか？

黒田：東京の私立の病院で実習を行いました。受付業務から始まり、医事課、総務などの事務一般の実習及び放射線部、看護部、手術室など病院全体を幅広く経験することができました。特に印象に残ったことは、事務長に一日付いて仕事をつぶさに見学したことです。まずは国立病院に実習に行ってきたので、医療現場では放射線科・栄養課などの仕事内容や、全体の流れなどを学んできました。特に印象に残ったことは事前学習としてこれから独立行政法人化されたり、統廃合の流れがある中で、今まででなく人件費などの経営面にも注目していることと、動きが見えてきたこととです。



黒田史博

小林：国立病院に実習に行ってきたので、医療現場では放射線科・栄養課などの仕事内容や、全体の流れなどを学んできました。特に印象に残ったことは事前学習としてこれから独立行政法人化されたり、統廃合の流れがある中で、今まででなく人件費などの経営面にも注目していることと、動きが見えてきたこととです。



小林真理子

清水：社団法人の病院に行きました。実習の内容は、黒田君、小林さんとほぼ同じでした。特に印象的なのは、施設課の徹底したコスト意識であり、壁掃除など自分達でやっていた。私も壁掃除を手伝いました(笑)。



清水隆明

和田：東京の私立の病院で、総務や人事の仕事のみでなく物品管理なども行っていました。シートを畳んだり滅菌作業も手伝っていました。その中に患者さんを手伝いやる心があるのを感じました。それとこの病院では理念を強く掲げていてそれをものに職員が仕事をしているのが印象的でした。

高久：黒田君と同じ病院で、病院の収益構造に注意を払いながら実習を行いました。医事課を中心に院内のネットワーク、医事課にコストが集まる様子などを重点的に見させていただきました。この病院では事務長を中心として一括して収支の管理がなされており、このような一貫した管理体制が経営がうまくいっている理由なのかと思いました。

岩月：自治体立病院を見てきました。この病院を選んだ理由は自治体立の経営が悪化しているということと、この目で実際に見てみようという考えです。特に印象に残ったことは、院長の強いリーダーシップです。トップの理念により組織は変わる、組織のあり方について学んできました。



岩月智子

医療経営管理の学生として病院に関する意見

和田：病床数の2倍の職員が働いており、「何らかのリストラが必要ではないか？」と尋ねました。リストラは患者様のことを考えるという返事でした。



和田千恵子

小林：国立病院の経営はますます厳しくなり、安易にリストラは出来ない、定年退職者を持ったり業務の委託を行い、最小限の人数で効率よく運営している現状に感じました。

高久：現場のコスト意識が高く、例えば放射線科では3台のCTの一台一台にその日一日の目標数が設定されていることに驚きました。その病院では事務長を中心に種々のデータ

を解析し、診療会議などで各部門の管理者にそれらの解析結果を示していました。先生：もし事務長の仕事を任せられたら皆さんはできるかな？

黒田：小さな企画ならやるかもしませんが、病院全体を見る目がかけています。また病院の経営に欠かれないスタッフとのコミュニケーションをとることも難しいです。

清水：今の知識では難しいです。経営の知識、特に数字を見て病院の全体像を把握することができれば難しいです。コスト意識を病院全体に浸透させる能力も必須ですが今の私には力不足です。

先生：清水君の病院は、コスト意識が浸透してましたか？

清水：部署によって意識の差は大きかったと思います。

先生：岩月さんの病院は、現場もコストを意識してましたか？

岩月：トップダウンでコスト意識は現場まで浸透してました。こういう形の経営もあるかと思いますが、下の人たちの意見を聞いてポトムアップでコスト意識を育てるという方法もあるのかなと思いました。



高橋先生と語り合う学生達

後輩へのメッセージ

和田：病院のどの部署がどのような業務をしているのかを本「病院はやり方読み本」などでしっかり勉強してから実習を行うと良いと思います。

高久：自分が病院で「何を勉強したいのか」という目的意識をはっきり持って行ったほうが良いと思います。

岩月：はじめに最終日までのスケジュールが渡され、どの課にお世話になるのかは前もっ

てわかりますので、どのような質問を行うか、逆に「どのようなことが尋ねられるか」という想定質問を考えてから実習にのぞむのが良いでしょう。

黒田：持って行ったら役立つものは、電卓、事務以外で研修する時は白衣などです。またノートパソコンがあれば便利だと思います。

清水：できるだけ多くのデータを先方より出してもらえそうな態度で実習を行うことが必要だと思います。もう一度実習を行えるならば、原価計算ができるぐらいのデータを集めて、経営分析を行ってみたいですね。

先生：栄養課に行った時「なにに興味があるのか」と尋ねられた事があったと思いますが、もし今ならどんな風に答えますか？

清水：費用と収益のバランスと答えました。

先生：同じことを高久君が放射線科に行つて尋ねられたら、今ならどのように答えますか？

高久：実習でこの質問を受けたときは病院全体における放射線科の位置づけと答えました。今は機械の減価償却や一日の撮影目標値などに興味があります。



高久和也

先生：では、事務長に対して、今ならどのようなことを聴きたいですか？

黒田：どういった視点で病院を見ていかと言つ事やどのようなことに注意を払い人を動かしているかということとです。

先生：医療経営管理学科の学生は、実習に行く前と実習から帰ってきた後では、物の見方や考え方が大きく変わり、現場感覚に根ざした話が徐々にできるようになってきたと思います。皆さん今日はご苦労様でした。



さすが高橋泰先生。学生達との座談会を大いに盛り上げ、学生の声を見事引き出してくださいました。続きまして、本多勇先生の司会による医療福祉学科の座談会です。こちらでも学生の皆さんから様々な体験が語られました。

医療福祉学科



本多 勇 先生

本多勇先生：社会福祉は利用者の生活の自立・自己実現というのがキーワードになっていてと思います。今回8人の3年生に集まってもらいましたが、実習を通してなにかを感じたかを聞いてみました。

初めての実習。最初の一周目の感想は？

中野：不安と緊張の中、あたふたした毎日でした。最初は流れについていくことで精一杯でした。

洪川：デイサービスセンターで、最初主任さんに利用者の名前や状態を覚えるように言われましたが、目の前の実習に追われてなかなか名前を覚えられませんでした。

福井：肢体不自由児の施設で実習をしました。積極的にいながらもやるうと思つてが、んばりましたが、失敗の連続でした。子供たちとの関わりの中で施設の方の小さい時を思い出して接してみたらと言われて、ふとしたことを思い出しながら子供達と一緒に楽しく過ごしたことで、最初は慣れないながらも、努力しました。子供たちと接する機会を得たので三日目には103名の子供たち全員の名前を覚えられたことが良かったです。



福井 秀 隆

稲葉：最初の日に施設の方から生活のリズムに慣れるように言われ、努力しました。子供たちと接する機会を得たので三日目には103名の子供たち全員の名前を覚えられたことが良かったです。

山田：特別養護老人ホームでの実習で、普通は介護業務の実習を最初にすると思うんですが、私たちはケアプランをたてるために利用者さんを観察する実習が中心だったので、とにかく利用者さんと仲良くなれるように努力しました。



山田 久 美

杉田：特別養護老人ホームで実習してきました。はじめの一週間で基本的な介護の仕方を学びました。利用者さんの顔色や状態をみたり、コミュニケーションの取り方を学ぶのが初めての目標でした。利用者さんから多くのお話を聞き出すように自分の方から積極的に話すよう努力をしました。

先生：そうですね。コミュニケーションを取ろうとするのは大事なことです。

大竹さん：寺脇さんはどうでしたか？社会福祉協議会で実習をしてきました。いろいろな行事があり、その準備で忙しかつたです。社会福祉協議会の仕事は地域との交流が重要だと改めて認識しました。

寺脇：福祉事務所は利用者や毎日顔を合わせるわけではないので、どういふ風に福祉事務所が運営されているかを学びました。郡部の福祉事務所での実習だったので地域の中での役割や置かれた立場をなるべく学ぶようにしました。



本多先生を囲む8人の学生達

実習において特に感じたこと・思い出

先生：四週間にわたる実習の中で、特に感じたことや、印象に残っているエピソードを教えてください。

中野：障害者施設の実習で、自分のテーマが「関係作り」だったので、自分自身でよく出来ませんでした。自閉症の人たちとのコミュニケーションはとて難しいことでしたが、キャッチボールでコミュニケーションを取れるようになったことが印象的で一歩前進しました。



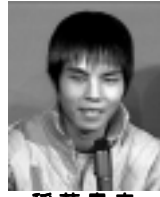
中野 創



洪川 健 史

洪川：デイサービスでは「あそびりテーション」という自分で考えたゲームをやることが「つりゲーム」をやってみたら最初不評でした。次の日にもう一度相手の身になって改善してやってみたら大好評でした。

福井：肢体不自由児施設の子供たちとシャボン玉をして遊びました。幼少の頃に帰ったつもりで歌ったりシャボン玉やボール遊びをしたことが楽しくもあり新鮮でした。



稲葉 貴 幸

稲葉：児童養護施設で、「してあげる」ではなく、「一緒にする」という姿勢で臨んだ所がよかったと思います。中学生は朝起こす時、さげしてプロレス技で起こしたり、「実習生」と言うより「その一員」と言うスタイルで行ったことが結果的によかったと思います。

山田：同性介護と言った部分で問題になっていましたが、私は排泄介助も一度だけで、同性だったので私の場合は問題ありませんでした。私が担当した利用者さんは痴呆も無い人だったのでテレビ番組のことなど話を作りをしつかりとることが出来ました。

杉田：ショートステイの利用者さんに痴呆の方が多かったです。帰りたいと言った声に対して職員の方は「状況は納得させて」という介助の仕方もあるんだなということを感じました。利用者さんの話を親身に聞くように冷静でいなければいけないことに一緒に泣いてしまいました。寮母さんや施設の方の助けで実習ができたと思います。



大竹 由 夏

大竹：一週間ごとでプロシエラムが決まっていたので、様々な場所に行くので日々の積み重ねがあまり出来ませんでした。今までは障害者の方々と接するのが苦手でしたが、授産施設で接してみたら、私は障害者の方の反応をゆつくり待つてあげられなかった」と言うことに気がつきました。

寺脇：職員の方々がとにかく地域に根付こうという努力が私の心を打ちました。利用者さんが接する時間が少なかった中で、ケース記録を事前に見て自分の頭の中でイメージしながら訪問しました。「実習生」という甘い考えは捨て失礼の無いように努めました。でも現実とイメージのギャップが大きさに動揺してしまい、最初はとまどいがありました。

先生：実習施設の種類によって実習の内容は様々ですね。それぞれそれぞれ苦労してきたみたいですね。それでは先輩へのメッセージをお願いします。

先輩へのメッセージ

中野：良い時悪い時の波があるかも申しませんが、それを乗り切ってください。七転び八起きの精神でがんばってください。施設の方々の話をよく聞くようにして、自分の方から積極的に質問することが大切だと思います。

福井：一番大切なのは「話すこと」。質問やお話などは重要ですが、話すことによって通じ合えることもたくさんあるので積極的に会話をするように努めてください。

稲葉：宿泊の時はご飯をしっかりと食べてください。体が持ちません。自分が楽しくないと思いついても心から楽しむようにした方がいいと思います。



杉田 紫 織

山田：別の実習生と励ましあつて乗り切ったこともあって、一緒に歩く人とのコミュニケーションも大切にしてください。

杉田：実習は限られた時間なので、一歩施設に入ったから「笑顔とハイテンション」でいこうと決めていました。老人の場合は話が通じないことが多く、歌などでコミュニケーションを図るきっかけが出来ることもあるので、いろいろ工夫してみてください。



寺脇 立 子

大竹：行くまで目標が漠然としていましたが、社会福祉協議会は総合的に福祉を勉強できる所なので、まだ目標が定まっていなくても、動機を見つけられる社会福祉協議会をお勧めします。

先生：「話し掛ける」「ご飯を食べる」「ハイテンションでいく」「実習仲間と仲良くやる」「課題を設定する」「挨拶する」「謙虚に...」利用者や職員の方との関係づくりが重要ですね。来年もまた違う形での実習がありまうので、今回の経験を踏まえてがんばってください。今日はありがとうございました。

学科・センターだより

大学院

第2回大学院研究報告会を終えて

大学院修士課程発足後9ヶ月が経過し、関係者一同、40名の院生と共に、一つ一つ問題解決に努めております。先日第2回の大学院研究報告会を開き、院生の一人一人が自分の取り組んでいるテーマについて報告しました。いずれも7月の第1回に比べ目標に向かって努力されている様子が伺われ、4月に蒔かれた40粒の種から、やがて学内のパンジーのような色とりどりの花を咲かせてくれるであろうと楽しみにしております。ご多忙の中、ご参加、ご助言をいただきました先生方に厚くお礼を申し上げます。

(初山泰弘)

看護学科

「国際看護論」を後期から開講しました!

看護の世界ではここ数年、国際保健に対する関心が高まった。学生間でも青年海外協力隊やボランティアが話題になるらしい。確かに国内にも在日外国人の医療問題があり、開発途上国などには貧困、人口問題、感染症、環境破壊など人々の健康を脅かす深刻な状況がある。こうしたことから日本でも国際的視野をもつ看護婦の育成が必須となった。2007年に施行された新カリキュラムでは広い視野に基づいて諸外国との協力を考える機会をつくるというねらいが明示され、現在では重要科目とも言える。今後も充実させていきたい。

(中村 勝)

理学療法学科

11月24日に卒論発表会が行われました。演題数は34題。発表に際して入念なりハイスルを行うグループや早々と仕上げた余裕のあるグループなど様々でした。また発表は、それぞれに工夫を凝らしており、どよめきや笑いが起こっていました。質問も積極的で、質問用マイクの前には質問者の列ができ、時間延長されるなど充実した発表会となりました。4年生は卒論提出も終わり国家試験に向けての勉強、3、1年生は後期試験と忙しくも充実したこの時期、体調に気を付けて乗り切ってください。 (西條富美代)

作業療法学科

臨床実習(総合実習) お疲れさま!!

新しい年が明けました。どんな新年を迎えましたか?
4年生の総合実習も終わり、いよいよ最後の追い込みの季節。国家試験まで最後の気力をふりしぼって頑張ってください。臨床実習では色々学んだことがあると思います。自分だけの経験に終わらず、情報を共有し、お互いの経験を活かして下さい。4年生は後輩への情報伝達もお願いします。3年生以下は4年生から色々聞く機会を持つよう心がけてみて下さい。 (久保田清子)

言語聴覚障害学科

国家試験に向けて日々勉強!

4年生は12月に臨床実習を終え、現在3月26日に行われる第2回言語聴覚士国家試験に向けて猛勉強中です。昨年に引き続き学内の多くの先生の御協力を得て国家試験対策講習会を1月上旬に実施し、4年生に国家試験への緊張と意欲が一層高まってきたように思います。臨床実習と同様、みなさんが今まで学んできたことのまとめとなります。試験まであと2カ月、悔いの残らないよう健康状態にも充分留意しながら取り組んでもらいたいと思います。 (烏野幹夫)

放射線・情報科学科

明けましておめでとございます。爽やかな新春を迎えられた事と思います。昨年は初めて卒業生を送り出した記念すべき年でした。卒業生から届く便りや伝言が何とも嬉しいですね。年が明けて一日と次の卒業生を送り出す日が近づいてきますが、昨年の新春と何か違う感じが

するのは、恐らく、我が大学、学科、教員を、そして後輩達を外から見ている同胞が全国にいるからだと思います。後に続く4年生は国試と就職に真剣に取り組んでおり、全員が難関突破してもらいたいし、3年生は臨床実習で一回り大きくなりました。1、2年生は今こそ基礎実力をつけてもらいたいです。 (野原功全)

医療経営管理学科

医療経営セミナー開催のお知らせ

医療経営管理学科は、栃木県病院協会と共催で1月22日(土)に学生の就職活動を兼ねた医療経営セミナーを開催します。テーマは「より良い医療を目指して」介護保険の導入と医療経営です。このセミナーは、病院協会の他に栃木県医師会、栃木県保健福祉部、栃木県精神衛生協会、栃木県看護協会、栃木県老人保健施設協議会からも御協力をいただいております。会場は栃木会館小ホール(宇都宮市)、時間は午後3時~6時、参加費は無料となっております。興味のある方は是非ご参加ください。 (磯 伸彦)

医療福祉学科

一期生の3年生は、実習がほぼ終了し、関心が4年次の実習、卒論、就職、国試に向いてきました。医療福祉学科全員が目指す社会福祉士の国家試験は、全国合格率は30%程度と厳しいものです。また社会福祉士は名称独占の資格なので国試に合格すれば社会福祉士という職業に就けるというものはありません。いよいよ国試・就職活動が目の前に迫ってきて、一期生には、実現可能性と所期の希望の調整に悩む姿もみられます。がんばれ3年生。夢を見据えて進んでください。 (田澤薫)

語学教育センター

聴き、話す楽しみ、観る楽しみ

フランス語の授業

受講生は百数十名となり安定している。この言語固有の魅力に、最近の日仏関係、本学教務委・英語科諸先生のご理解による語学単位修得法の手直しも追い風となつていよう。学習を楽しむものとするために、習い立ての文法事項を反復駆使して、応答・会話に専念する時間を拡充、表現内容にはリアル・タイムの事象を織りこんでいるので、学生諸君の興味集中が見られる。しかも理解と発話の分野は現代学生の能力にマッチしている。映画鑑賞による仏文化へのアクセスも行い、セリフなどの試験出題により刺激あるものとした。 (荻原茂久)

基礎医学研究センター

医療過誤と剖検

国内外で医療過誤が話題となりました。病院実習などに際して、とくに気を引き締めなければなりません。医療過誤に際しての剖検の対応が問題となった例もあります。解剖は、その目的によって系統解剖(篤志家からの献体による)、病理解剖(病因の究明)、司法解剖(犯罪医学)、行政解剖(事故の究明)に分けられます。病院内の不慮の出来事などは病理解剖の対称でなく、疾病が死因となったものに限られ、ご遺族の承諾書が携わらなくてはなりません。これは臨床に携わる者にとって一つの常識だと思います。2000年は医療過誤0の年であるよう祈念しています。 (飯高和成)

健康管理センター

在宅医療への取り組みについて

本年4月からいよいよ介護保険制度がスタートし、医療改革の波が次々と



特選の？
初書です

初雪便り
平成十二年一月十日(水)本学に初雪が降りました。寒さもますます厳しくなり、冬も本格的になってきます。風邪などひかないよう健康には十分気をつけましょう。



言語聴覚センター
言語障害あれこれ(3)
学習障害(Learning Disabilities, LD)
知的発達遅れ、難聴、自閉症など、学習を阻害する原因がないにも拘わらず、読み書き、算数などの学習が遅れる状態をいいます。原因は脳機能の発達障害によると考えられ、家族性に生じることがあることが知られています。LD児は知的に正常なので、努力しても友達のように学習が進まないことに自ら早く気がきます。しかし難聴など違って障害の形を捉えにくいので、障害に対して家族や学校が理解し難く、問題が子供の努力の足りなさにより替えられがちです。そのため子供は学習意欲をなくし、不登校を招くことが多くあります。わが国ではまだLDに対する社会的認識が浅く、言語聴覚センターには不登校のLD児が多く訪れます。(大石敬子)

押し寄せて来ます。当センターでも在宅医療への取り組みが始まります。当面は居宅介護支援事業(ケアプラン作成など)、訪問看護ステーション、通所リハビリテーション(デイケア)などを取り扱います。これらの事業開始に当たって既存の施設の一部を改装し、病床も部分的に転用することとなります。学生・教職員の方々の健康管理には支障が無いよう細心の注意を払いますが来所される際などご注意いただければと思います。(都築正和)

教員紹介

毎号、各学科・センターからご紹介頂きます。

所属・職位 生年 出身校 専門分野 直前の勤め先 主要著書又は論文どちらか1点 本校における担当科目 趣味

廣田佳代(ヒロタ カヨ)



看護学科・技術助手
1970年
国立栃木病院附属看護学校
成人看護
国立栃木病院
臨床看護実習指導等
ドライブ、友人達とバーベキュー等

富沢比呂之(トミザワ ヒロシ)



放射線・情報科学科 講師
1958年 立教大学 錯体化学
立教大学
Preparation and Characterization of trans- and cis-Anionobis(ethylenediamine)nitrosyl-ruthenium(II) Complexes
化学、基礎化学、基礎化学実験、放射化学実験、放射線管理学実験
スポーツ、映画鑑賞

松永達雄(マツナガ タツオ)



言語聴覚障害学科・助教授
1963年
慶應義塾大学医学部
耳鼻咽喉科
ペンシルバニア大学病理医科学教室
聴覚情報処理とその異常、メジカルビュー社、1996年、共著
耳鼻咽喉科
ドライブ、映画、テニス

山本雅憲(ヤマモト マサノリ)



臨床医学研究センター・助教授
1952年
名古屋大学医学部
泌尿器科学、男子不妊症
茅ヶ崎中央病院
Successful use of interferon for male infertility. Lancet 344: 614, 1994
泌尿器科学 読書

情報メディア室からのお願い

情報メディア室では、本誌IUHWとホームページ充実をより一層計るため、広く皆様から情報をお待ちしております。特に学生の皆さんからの熱意あふれた声をお待ちしております。なお情報メディア室はJ棟1階にありますので、お気軽に遊びに来てください。

IUHW クイズ - 第17弾 - 当選者発表

クイズにたくさんの応募をいただきありがとうございます。正解者は40名でした。厳選なる抽選の結果、川越美千代さん(福祉1年)に当たりました。当選者は学生証を持参の上、事務局まで来てください。なお正解は以下の通りです。

解答

1 ウ 4 ア

2 イ 5 エ

3 オ

問題

- 問1 A: This new TV doesn't work at all.
B: It must be a (lemon).
問2 A: Will you please help me do this?
B: Sure. It's a piece of (cake) to me.
問3 A: I think that actor overacts and shows off.
B: Yeah, he is a (ham) actor.
問4 A: I'm really mad about this problem.
B: I'm going (bananas), too.
問5 A: He is the person who brings home the (bacon).
B: Oh, I see.

ア bananas イ cake ウ lemon エ bacon オ ham

第3回ダンス部公演 12月5日 in ハーモニーホール

ダンス部38名は、約800人の観客を前に昼夜の2回、自作ダンスを披露しました。3年生にとっては最後の舞台。そして、苦しくも楽しくもあった3年間の集大成でありました。今回オリジナルの物語風ダンス(20分)を柱に2時間、三部構成で18作品を踊り、大変好評を頂きました。自分たちの可能性への挑戦、そしてダンスの魅力をより多くの人に感じてほしい、それが私たちが公演する大きな理由です。幕が下りた後の、あの感動を胸に、もっとすてきに輝けるように新たなスタートを切ります。皆に感謝。そして今後も応援よろしく。
ダンス部 谷上優子(作業3年)



オリジナル物語風ダンスの1コマ

Dance
Dance
Dance

リレーエッセイ

理学療法学科 黒澤和生先生

最近のマイブームは紅茶です。きっかけは定かではありませんが、今、我が家には中国のキーマン、インドのダージリン、アッサム、セイロン茶(現スリランカ)、ジャワ茶など、それぞれ農園ごとに味が異なる13種類の紅茶が、狭い棚いっぱいには並んでいます。キーマン、ダージリン、ウバ(セイロン茶)は世界三大銘茶と呼ばれていますが、私の中では、ダージリン地方のナグリとセイロン茶のキャンディ(ミルクティに最適)が一押しといったところです。

先日、紅茶専門家から話を聞く機会があり、その味わいの表現方法に驚かされました。「舌の上にくつきりとピラミッドが建つ」、「切れ味が鋭くてボディがある」、「香りが口から鼻に漂って、後味が軽やか」など一種独特な表現が耳に新鮮でした。まるでソムリエの田崎真也がワインを飲んでいるような表現でした。説明では、渋み、甘み、酸味の釣り合いがとれていることを、「舌の上にピラミッドが建つ」と表現し、ふくよかで、豊かな膨らみがあることを、「ボディがある」と言うのだそうです。

私流にナグリを紹介しますと、夏摘みナグリの香りは、マスカットフレバが口から鼻に抜け、程良い渋みが広がった上に、どことなく酸味が漂い、最後に甘みが残るといすばらしくバランスのとれたお茶です。それは、まるで舌の上に奈良の大仏が建つようです。こんな話で、お茶が濁ってしまいました。(理学・K亭K朝)

次回執筆者:大内章子先生(看護学科)

私が感銘を受けた本(第2回)

書名: ^{もうか}孟夏の太陽

著者: 宮城谷昌光、出版社: 文藝春秋社

紹介者: 理学療法学科 谷 浩明



『孟夏の太陽』は、春秋時代の晋の名家、趙一族の盛衰を描いた短編集である。宮城谷小説の面白さは、淡々と語られる文章の隙間に登場人物への思い入れが見え隠れするところにあるが、この短編集でも、趙氏滅亡の危機に際し、二人の男が遺児の趙武を守り抜く「月下の彦士」では、主従が単なる上下などではないことが切なく描かれる。

この小説の登場人物たちが自らの「分」の中で最善を尽くす美学は、なまぬるい平等主義と外部に虚無的な姿勢をとっていた私が、欲していながら自ら捨ててきたものを、読み返す度に思い起こさせ続けてくれている。長編の『天空の舟』や『晏子』も信頼などという言葉でまとめてはいけな心身のドラマが感動を呼ぶ。

毎号、教職員あるいは学生に簡単な紹介文を書いていただき、この本を3冊購入して図書館の大学長著書の書棚(入って左)に置きます。ご愛読下さい。図書館長

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

心配されていた2000年問題も今のところ大きな被害は報告されず、まずは一安心。このIUHW30号も何らかの影響を受けるのでは?と想像していただけに担当者一同胸をなでおろしています。

これからも広報委員会では充実した紙面作りに励みたいと思っています。皆さん、本年もどうぞよろしくお願ひします。(磯 伸彦)

IUHW クイズ - 第18弾 -

賞品はなんと旅行ギフト券(8000円分)!

ご存じですか。1999年12月にモロッコのマラケシュで行われた第23回世界遺産委員会において、栃木県の「日光の社寺」が世界遺産に選ばれました。今回は、それにまつわるクイズです。正解を記入して事務局窓口外側のメールボックスへ投入してください。正解者多数の場合は、抽選で1名の方に旅行ギフト券をプレゼント。応募資格は本学の学生で、1人1通、締め切りは2月20日です。

- 次のうち、今回の登録資産に含まれていないものはどれでしょう?
東照宮 二荒山神社 輪王寺・大猷院 華嚴の瀧
- さて、「日光の社寺」は日本で何番目の世界遺産登録だったでしょう?
1番目 5番目 10番目 15番目
- 世界遺産に含まれていないものはどれでしょう?
原爆ドーム 知床半島 金閣寺 屋久島 姫路城
- もう一問、世界遺産に含まれていないものはどれでしょう?
自由の女神(アメリカ) ピラミッド(エジプト)
パナマ運河(パナマ) アウシュビッツ強制収容所(ポーランド)
グレートバリアリーフ(オーストラリア)
- 世界遺産を扱う国際機関UNESCOの本部はどこにあるでしょう?
パリ ベルリン ローマ ロンドン

キリトル

学科	学年
名前	
解答	1 _____ 4 _____
	2 _____ 5 _____
	3 _____